

オープン記念・特別号



# コミュニティハウス片瀬山 ～山本文庫～

発行：  
NPO コミュニティハウス片瀬山  
代表 佐藤英樹  
〒251-0033  
藤沢市片瀬山 5-19-3  
TEL&FAX 0466-90-4236

### NPO コミュニティハウス片瀬山の役割

地域に提供された戸建て住宅を活用して多世代交流の場をつくり、片瀬山及び周辺地域の住民が集い、楽しく豊かに充実した生活が送れるコミュニティを実現するための事業を行なうことを目的とする。

### 事業の三つの柱

- 1 山本邸を地域の交流促進に活用すること
- 2 山本文庫を地域のために活用すること
- 3 藤沢市の「地域の縁側事業」を実施すること

## コミュニティハウス片瀬山 オープン10/17 開所式・オープニングパーティ 10/19



### 藤沢市長 鈴木恒夫様

「コミュニティハウス片瀬山」のスタート、誠にありがとうございます。「コミュニティハウス片瀬山」は、家屋のオーナー様に、本市の地域の縁側事業にご理解・賛同をいただき、空き家の活用を図ることにより実現したものであります。開所に向けてご尽力をいただきました「NPO コミュニティハウス片瀬山」の佐藤代表をはじめ、関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。現在、地域では、高齢者、子育て世代において複雑な課題を抱えている方々が増えているように思います。こうしたことから、この地域の縁側が、地域にお住いの皆さんの生きがいづくりや、社会参加につながる場となり、人の和が結ばれる拠点となるよう、大いに期待されるところであります。地域の縁側事業につきましては、「誰もが気軽にふらっと立ち寄れる場所」として、本年10月末現在で26か所まで拡充してまいりました。今後も、皆様と一緒に「地域で人がつながり、支えあいまちづくり」を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



### 山本文庫とコミュニティハウス オーナー友人・弁護士 増本敏子様



私は、この家の所有者山本祐子さんの弁護士時代からの友人で、当初からこの計画に関わってきましたので、山本さんに代ってこれまでの経過を説明させていただきます。山本祐子さんの亡夫、山本一郎さんは戦後の司法修習制度第一期の裁判官でしたが、大変な読書家で、一昨年亡くなられたとき家の中は蔵書の山でした。祐子さんは夫が大切にしてきた書籍を何とか保存したいと願い、まず藤沢市の教育委員会や図書館に相談しましたが、図書館も場所が狭く引き取れないとのことで、困ってしまいました。ご本人はすでに老人ホームに入居されていましたので、空き家に多量の本を並べても不向きなだけです。そのとき市民自治推進課の宮原主幹(当時は企画政策課)から「住民の方たちがコミュニティハウスをつくる運動を続けておられ、適当な空き家を探しておられるので、検討してみたらどうか」との話があり、一気に希望が膨らみました。皆さんに安心して使って頂くために耐震診断をしてもらい、補強工事、改修工事を済ませて、藤沢市に無償貸与する契約を結びました。なるべく多くの本を残すため場所を確保したい山本さんも、集いのための部屋を多くしたいと頑張られる住民代表の佐藤さんの熱意に譲歩し、ついに山本文庫とコミュニティハウスが発足したのです。皆さんが楽しく集って、本も読んで下さる、この光景を山本一郎さんがご覧になったらどんなに喜ばれることか、皆様のご努力に祐子さんも私も感謝でいっぱいです。

### 市民自治部 部長 井出秀治様

窓から見える湘南海岸の風景とともに穏やかな時間の中で読書ができたり多くの方々が集える、そんな陽だまりのような地域の縁側 山本文庫～片瀬山コミュニティハウス～がオープンしました。オーナーのご厚志を受け、周到なご準備を進められた関係者の皆様にお礼を申し上げますとともに、片瀬地区における未来づくりの一助となるようご期待を申し上げます。片瀬地区は自治会町内会の加入率が一番高い地区であります。高齢化率が2番目に高い地区でもあり、今後若い世代の方々のまちづくりへの参加が望まれます。今までの時代の価値観が物質的な豊かさを求めている社会だとすると、以前から地域で育まれてきた、「道普請」や「手間返し」「結(ゆい)」など、お互いに人手を出し合って助け合うまちづくり、「つながり、絆」といった精神的豊かさを求める社会になると考えます。地域の皆さんの多くの知恵と少しの手間を持ち寄り、既存の考え方にとらわれず自らの価値観と他者の価値観を共有し、つながる。そんなまちづくりのストーリーや地域の力を未来につなげていただきたいと思います。地域の縁側がゆっくりした時間を過ごす非目的的な場、滞在型のサービスを提供する場、そして他者の相談事や悩みを少しでも緩和する場となるよう期待しています。



(市民自治推進課 宮原主幹)



藤沢市社会福祉協議会事務局長 倉持泰雄様

コミュニティハウス片瀬山（山本文庫）の開所、おめでとうございます。こちらの事業の大きな特徴は、山本様のご厚意により、いわゆる「空き家活用」のモデル的な取り組みであること、そして、片瀬山地域の皆さんが、地域の課題を共有されており、高齢者の支え合いや防災・防犯等の活動を始め、地域の課題に対応する様々な互助の活動を熱心に、組織的に取り組まれているということだと思います。

地域の中にはいろいろな人たちがいて、たくさんの知恵や豊富な経験があり、多くの力があります。それらの力を地域の活動に活かしたり、組み合わせることができれば、いきいきと安心して生活ができる地域社会の実現につながっていきます。

この事業が、今後、さらに地域全体の取り組みに発展されていくことを祈念しております。



片瀬地区社会福祉協議会会長 杉山義子様

笑顔あふれる楽しい場所として日々利用していただいている片瀬ボランティアセンター「ひだまり片瀬」が設立7周年を迎えたとき、「コミュニティハウス片瀬山」がオープンいたしましたことは、うれしさでいっぱいです。

本当におめでとうございます。一軒家で多目的に使える「コミュニティハウス片瀬山」は望む景色も美しく、すばらしい居場所です。これからは住民同士のきずなを深める居場所として多くの方々に喜ばれ、利用していただけるよう心から願っております。日々明るい笑顔で温かく見守ってくださる多くの従事者の皆様に私も感謝申し上げます。



片瀬山自治会連絡会 会長代理 4丁目会長 尾崎陸男様

片瀬山自治会連絡会の石野会長の代理として一言ご挨拶を申し上げます。本日は、コミュニティハウス片瀬山の開所式を迎えることができ真にお喜び申し上げます。山本様のお家を会場として利用させていただくことで、藤沢市の縁側事業の認可を得ることができ、また山本様の山本文庫も併せて開設されると伺っております。山本様はお家を耐震構造に改築後に、山本文庫と共に縁側事業の会場として提供されたことと真に有り難いことです。佐藤代表には、片瀬山自治会連絡会にご出席願って、コミュニティハウス片瀬山の開設に向けての進捗状況を報告してもらっておりました。片瀬山自治会として、藤沢市の縁側事業の趣旨である、高齢者の方々から子供たちにいたる多くの世代の憩いと相談を受ける居場所として利用できることですから、一人でも多くの方々にご利用していただけるよう応援してまいりたいと思います。最後になりましたが、コミュニティハウス片瀬山と山本文庫の開設にご助成をいただきました藤沢市と社会福祉協議会の方々、またご出席の皆様には今後ともご支援のほどをお願い申し上げます。



五丁目近隣ネット代表 鶴岡伸彦様

五丁目近隣ネットを代表して 初めに三つのお礼を申し上げます。一つはこの建物を提供いただいた山本様にです。お話しによると耐震工事までしていただいたそうです。

二つめは藤沢市の地域の縁側事業としてこの施設を認可いただき財政的にも支援頂いていることです。

三つめはこの施設を提供いただいてから約10ヶ月に及び行政や工務店との折衝、備品の調達、文庫の整理など大変な作業がありました。それ等を担った佐藤代表をはじめ正田良一氏など7人の発起人・役員、それに加えて資金や物品をお寄せいただいた多くの住民の皆様に対してです。

近隣ネットとはご存知のように片瀬山地区独特なボランティア組織です。災害時を含め近所の助け合い活動を目的に、現在は「安否確認」や「夕涼み会」「防災機材の点検」「朝のラジオ体操」など自治会とは表裏一体の活動をしています。これらの活動を活性化するためには多くの方々が顔見知りになることが大切ですが「安否確認」や「夕涼み会」は年に1回です。その点で今回のコミュニティハウスの設立は近隣ネットにとって大変な難関だと思います。とくに片瀬山地区は高齢化が非常に高く家に引きこもりがちになり易い地域です。また大災害発生時には炊き出しの拠点として活用可能でもあります。

今後は自治会と協力しながら「顔見知り拡大縁側作戦」として活用させていただきたいと思っております。山本様、ありがとうございます。



コミュニティハウス片瀬山・山本文庫 代表 佐藤英樹

地域にコミュニティカフェをという構想を模索して長いこと経ちますが、今回、自宅と蔵書を地域のために提供して下さった山本様の

お蔭で一気にも夢が実現の運びになりました。誠にありがとうございます。

ここに至るまで多くの交渉やお力添えをいただきました市民自治推進課の宮原様、社会福祉協議会の倉持様、山本様と常に行動を共にして下さった弁護士の増本様に心から感謝申し上げます。

今年1月より有志7人でNPO（非営利組織）を立ち上げて大車輪でやってきて10月17日にオープンにこぎつけました。11月25日には耐震補強工事のため外部に保管されていた蔵書も戻りました。

「地域の縁側事業」としての助成金を受けることができ、また地域の多くの方々のご支援もいただけて、おかげさまで大変充実した施設になりました。

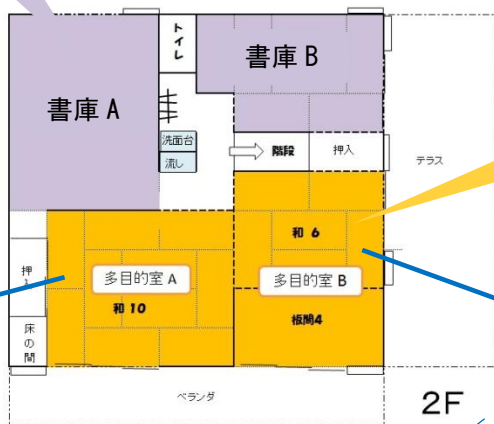
お仲間を募って集まってくる方々、おしゃべりや本を楽しむに見える方々、幼児を連れたママたち、夕方の小学生と、地域で多世代の集う心地いい場所になりつつあります。楽しい仕掛けもこれから考えてまいります。高齢化率の高い地域ではありますが、人の和を広げ、支えあいながら、住み慣れた地域でできるだけ長く幸せに暮らしたい、こんな場所が地域に必要なという信念のもと地道に運営してまいります。今後ともお力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



**山本文庫(5室)**  
貸し出しもいたします  
第4日曜: 10~13時にも  
オープンします



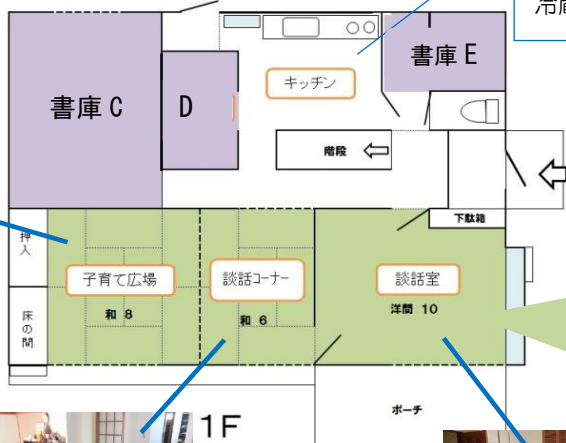
**多目的室(2室)**  
会合、サークル活動、趣味の集まりなど  
予約してご利用ください  
10~21時  
土・日・祝も可  
詳細はお問合せください



キッチン: 電子レンジ、  
冷蔵庫、食卓

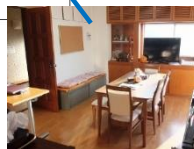


寄贈いただいた沢山のおもちゃ、  
かこさとしさんの絵本 80冊



**地域の縁側事業  
として利用**

月~金 10~16時  
予約も利用料もいりません  
お茶の用意もあります



**こんなことしています**

- ★千ク千ク 第4日曜 おしゃべり&〇〇〇ですね! 布で小物づくり
- ★子育てサロン(第4火曜) 楽しく子育てみんなでワイワイ 主任児童委員がいます
- ★囲碁を楽しむ(木曜午前) 碁盤をご寄付いただきました お好きな方はどうぞ
- ★木曜サロン(木曜午前) コーヒー飲みながら いろいろなテーマで議論
- ★PCサロン(第1、3水曜午後) PC&おしゃべり

★新年はあなたも一緒にどうぞ

★いろいろな趣味の方をおつなぎします

**年代別来所者数 10月~11月**

(名)

月	開所 日数	利用者年代											計	
		乳	未	小	中	10	20	30	40	50	60	70		80
10月	12	5	9	12	0	0	1	11	21	28	52	93	53	285
11月	24	12	12	26	0	0	2	22	10	33	61	148	78	404
計	36	17	21	38	0	0	3	33	31	61	113	241	131	689

**地域別来所者数 10月~11月**

(名)

月	片瀬山					目白山	片瀬					片瀬海岸			江の島	市内	市外	計
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	1	2	3				
10月	17	12	52	38	101	16	3	7	0	1	1	0	3	2	0	20	9	285
11月	23	9	93	50	124	14	7	16	3	4	2	0	2	1	0	28	25	404
計	43	21	145	88	225	30	13	23	3	5	3	0	5	3	0	48	34	689

## コミュニティハウス片瀬山についてお知らせします

### ●コミュニティハウスの利用に使用料が必要なのですか？

★地域の縁側事業として使われる1階部分は平日の10～16時の間、いつでも無料で利用できます。

★グループ利用など2階の多目的室は予約した上で利用ができます。(土日休日夜間なども可)

1階の3室も地域の縁側事業の運用時間外には利用ができます。利用時間に応じて光熱水費その他経費相当分の負担をお願いしています。(1時間あたり100円)

### ●誰でも利用できるのですか？

★地域の縁側利用(平日10～16時)には申し込みも利用料もありません。

★その他の部屋利用には予約をお願いします。

はじめて利用する場合は利用者・グループの代表者(申込者)の登録をお願いしています。登録料は無料です。

### ●受付係はいつもいるのですか？

地域の縁側事業開設時間は、ボランティアの受付当番が二人います。

但し、夜間、土日祝日などの時間外の利用時には、利用者に解錠・施錠管理、火気責任をもっていただきます。

### ●施設の開設費用はどこが負担したのですか？

耐震補強工事はオーナーの負担で実施。その他の改修工事(玄関の廊下・壁、電源工事、フェンス、手すりなど)や、家具、電化製品、諸々備品などの購入は当NPOが負担しました。

施設は市の進める縁側事業に対応する部分と多目的室および山本文庫から成り立っています。

### ●家賃の支払いはあるのですか？

オーナーが無償で市に提供しているので、当方の家賃負担はありません。

### ●固定資産税は誰が負担するのですか？

オーナーが負担しますが減免措置があると聞いています。

### ●建物の火災保険はどうなっているのですか？

オーナーの負担でかけられています。検知通報システムが警備会社の間で締結されています。

### ●月々の運営費はどうやって賄うのですか？

利用者数にかかわらず、地域の縁側事業として月々4万円が市から助成されるので、光熱費、消耗品など基本的費用は賄うことができます。但し、助成対象は地域の縁側事業としての部分の経費に限定されています。

### ●役員は報酬を得ていませんか？ 営利団体ではないのですか？

当NPOは地域の福祉に資する目的で設立されたものであり、営利団体ではありません。団体名のNPOは非営利団体を意味します。よって役員報酬の支払いはありません。開設準備段階での役員からの借入金は、来年度以降に収支の安定を見極めてから順次返済していく計画です。

### ●ボランティアは無償ですか？

サポート会員に登録くださった方は11月末時点で役員を含めて66名、受付その他の活動に手当の支払いはありませんが、藤沢市の「いきいきサポート・ボランティアポイント制度」に加入してもらっています。

### ●収支は公開されるのですか？

年次会計報告として、地域の縁側事業については行政に所定の様式で報告します。NPO全体の活動については組織関係者(サポート会員、賛助会員、寄付者)に開示されます。

## コミュニティハウス片瀬山

## 開設準備費用実績及び開設費用資金

開設費用実績		1,239,589円		
改修工事	玄関廊下・壁補修	192,000	家具・設備機器	
	電源盤・エアコン専用回路	160,000		
	外階段手摺増設	60,000		
	パイプフェンス	24,689		
	掲示盤設置	13,543		
	その他	34,612		
			テーブル・椅子・ボード	285,099
			エアコン 3台	170,640
			電話・TV・パソコン	101,230
			キッチン周り機器・食器	87,711
			照明器具	52,601
			カーペット・サンシェード	38,695
			その他	18,769

開設費用資金		1,295,000円	
改修工事助成	450,000	市・市社協	
設備・什器助成	300,000	同上	
賛助会費+寄付金	376,000	101名	
サポート会費	59,000	59名	
借入金	110,000	役員7名	

期間:2016年3月～11月末

■ 年末年始のお休み・・・12月28日～1月4日まで 新年は5日より

■ 新春交流会のお知らせ 1月6日(金)12～14時 参加費500円

新年の交流をしましょう。少しの飲み物とお料理を用意いたします。気軽におしゃべりを楽しみませんか。

お誘いあわせの上おいでください。準備の都合上、参加なさる方は来所またはお電話でお名前をお知らせください。